

菅原バイナリー発電所 竣工式が執り行われる

8月5日、菅原バイナリー発電所の竣工式が執り行われました。

式典には、九電みらいエナジー(株)穂山社長、九州電力(株)瓜生社長、九重町坂本町長をはじめ、関係者約70名が参列しました。

当社からは平田社長、久富火力本部長、木村プラント建設本部長、山崎営業本部長が参列し、神事では平田社長が玉串奉奠を務めました。

厳かな雰囲気で行われた神事に続き、施工者あいさつが行われ平田社長は「作業のピークは厳寒期でありましたが、無事故・無災害で

完成を迎えられたことを嬉しく思います。また、当社の社憲

にあるとおり“エネルギー産業の一翼を担う企業”として貴重な地熱エネルギーであるこの菅原に関わることができたことに感謝します。今後も当発電所が順調に営業運転を続けていくことをお祈りしています」と発電所の完成の祝辞を述べました。

なお、同発電所は、国内最大出力の地熱バイナリー発電所で、日本で初めての自治体（九重町）と民間企業（九電みらいエナジー(株)）の協働による地熱発電事業です。



▲菅原バイナリー発電所

菅原バイナリー発電所概要

所在地：大分県玖珠郡九重町大字菅原

出力：5,000kW

営業運転開始：平成27年6月



▲平田社長が玉串奉奠を務めました



▲祝辞を述べる平田社長